



Ides INC.

CORPORATE PROFILE

TRANSPORT INFRASTRUCTURE



交通インフラ部門



確かな技術と知恵で世界の課題を解決する。

私たちは、世界各地における港湾インフラ整備と環境保全分野を中心に、
総合建設、環境コンサルタントサービスを展開しています。
世界各国で、顧客の信頼と満足を得ている専門集団は
必ずソリューションを見つけます。

ENVIRONMENTAL CONSERVATION



環境保全 / 環境社会配慮部門

約 2050 年 カ国以上、

“沿岸域”で積み上げてきた 技術とノウハウ

プロジェクトを展開する国ごとに、その地理的状況、政治背景、経済状況などは異なります。
SDGsなどの国際的な取り決めや各国の現状・特徴をふまえて、
それぞれが抱える課題を解決するためのアドバイスを提言・実行していきます。

TRANSPORT INFRASTRUCTURE

交通インフラ部門

マスタープラン調査で培った、 戦略的な基本施策の策定

綿密な現地調査を行い、社会経済分析や投資効果まで網羅し、事業の軸となる基本施策を立案していきます。

運営・維持・管理業務をバックアップ

インフラの計画整備だけでなく、施設の運営管理の計画から契約関連の業務まで、ワンストップで対応します。

スペシャリストによる 設計・施工・監理

港湾・運河のほか、漁港・海岸保全施設などのインフラ整備経験豊富な技術者を擁することが当社の大きな強みです。

社会基盤整備から技術移転までサポート

セミナー・ワークショップの開催や技術移転など、トータルでサポートします。

調 査

計 画

設 計

施 工

施工管理

運営・維持

管理支援

ENVIRONMENTAL CONSERVATION

環境保全 / 環境社会配慮部門

多様な自然・社会環境に 対応する総合的調査

水質、大気質、騒音、底質、土壌の調査のほか、生態系の調査、有害汚染物質の社会環境調査など幅広い分野の調査・分析をニーズに応じた最適な方法で行います。

確かな環境予測評価と 環境管理計画

最先端の予測・評価技術を活用して、環境への影響を回避・軽減するための効果的な対策計画を提案しステークホルダーへの安心につなげます。

開発と環境保全の 両立をサポート

持続可能な開発のために、サンゴ礁、海草藻場、マングローブ、干潟といった貴重な生態系を保全し管理、再生していくソフトとハード両面からの最適な施策を提案します。

いであグループの総合力でバックアップ

社会基盤の形成と環境保全の総合コンサルタントとして、高い技術と豊富な実績を持つ“いであグループ”のネットワークを駆使し、質の高いサービス提供を行っています。

いであグループ

連結子会社

新日本環境調査(株)
沖縄環境調査(株)
東和環境科学(株)
以天安(北京)科技有限公司*

いであ(株)

非連結子会社

イーアイエス・ジャパン(株)
日本設計サービス(株)

Ides

関連会社

ジーフォーム(株)
UAE-IDEA Advance Analytical Company Limited(UIA)*
中持依迪亜(北京)環境検測分析株式会社(持分法適用)*
寧波国科監測技術有限公司*

* 海外

TRANSPORT INFRASTRUCTURE

交通インフラ部門

港湾マスタープランの策定

イラクの経済成長に対応した港湾開発の促進及び管理・運営面での改善を図る総合的なマスタープランと行動計画を提案しました。



ジャカルタ大首都圏における港湾開発マスタープラン及び港湾に至る道路・鉄道の整備計画を策定しました。



港湾の施設運営管理計画（コンセプションプラン）を策定しています。

ベトナム国カイメップ・チーバイ港でターミナルオペレーター選定の支援業務を行いました。



ケニアのモンバサ港でターミナルオペレーター選定の支援業務を行いました。



港湾整備のフィジビリティ調査や事業実施準備調査を環境社会配慮とともにを行っています。

インドネシア首都圏の物流機能強化を図り、経済成長に寄与するため首都圏の東部にパティンバン新港を建設する事業を環境社会に配慮して計画、さらに施設運営計画を行いました。



損傷していた東ティモール首都ディリ港の改修を計画し、設計・施工監理を実施しました。また、住民と生活物資の輸送能力の増強を図るため、フェリーターミナルの整備を環境社会に配慮して計画、その後設計・施工監理を行いました。



PROJECT INTRODUCTION

ENVIRONMENTAL CONSERVATION

環境保全 / 環境社会配慮部門

沿岸域環境保全に係る業務を行っています。

イランのペルシャ湾の海洋環境保護を目的としたROPME-JICAパートナーシップ・プログラムで、湾岸海洋環境保護機構加盟国における海洋環境の基礎情報収集、ワークショップの開催、加盟国との連携強化及び協力の促進を図っています。



ペルシャ湾沿岸域を対象に、環境保全と開発の両立を円指した、ゾーニング計画などを含む環境保全・管理マスタープランを策定しています。



港湾環境の改善業務を行っています。

モザンビークやカンボジアの港の汚染対策や環境管理体制を強化するために費用対効果を含めた検討を行いました。



森林保全事業計画を策定しています。

インドトリブラ州で森林の質の向上を図り、環境保全及び地域住民の生計向上に寄与するため、森林生態系及び水土保全活動、代替生計手段創出活動を実施しています。



GREETING

ご挨拶

当社は政府開発援助のプロジェクトを中心に、交通インフラおよび環境保全分野を柱に事業を展開しています。インフラ整備において開発と環境保全の調和を図ることは、避けて通れない命題ですが、開発途上国の国情に合った最適案を提供すべく、この難しい課題に真正面から取り組んでいます。そして持続的な開発目標(SDGs)に少しでも貢献できることを目指しています。

交通インフラ分野では、港湾セクターを中心に政策や開発計画の提案、施工管理、そして民間を含めた港湾の管理運営および人材育成まで幅広く事業を行っています。また港湾の環境アセスメントや環境改善、環境管理の強化なども当社の強みです。さらに環境分野では、自然環境保全・再生事業にも豊富な実績がありますが、近年では自然環境保全と住民の生計維持・向上との両立を図るプロジェクトにも注力しています。

当社は、小規模な会社ではありますが、社員一人一人が豊富な専門知識、経験および優れたコミュニケーション能力を持ち、開発途上国を舞台にコンサルタントとしての仕事を遂行することで、国際貢献を果たしたいとの強い使命感と気概を持って挑戦しています。私達の仕事の成果がその国の持続的発展に役立ち、その国の人々に心から喜ばれるものになるよう仕事に取り組んでいます。

代表取締役社長 原田 洋一

CORPORATE OUTLINE

会社概要

社名	株式会社 Ides
所在地	〒105-0011 東京都港区芝公園1-3-8 松木ビル3F
URL	http://ides-inc.co.jp
TEL	03-3434-0038
FAX	03-3434-0039
E-mail	info@ides-inc.co.jp
沿革	2001年4月 株式会社国際開発システム 2007年11月 株式会社Idesに商号変更 2016年1月 いであグループ会社の一員となる
資本金	8,000万円
代表者	代表取締役社長 原田 洋一
資格取得者数	学位取得者 2名 技術士 3名 TOEIC860点以上 9名

加入団体

- ・国際港湾協会(IAPH)
- ・国際航路協会(PIANC)
- ・社団法人 日本港湾協会
- ・一般財団法人 海外コンサルタンツ協会
- ・社団法人 海外環境協力センター
- ・一般財団法人 日本国際協力センター
- ・REDD+ プラットフォーム



株式会社 Ides

〒105-0011

東京都港区芝公園1-3-8 松木ビル3F

TEL:03-3434-0038 FAX:03-3434-0039

ides-inc.co.jp